

中里小学校 学校だより

令和6年2月8日

なかざと

第16号

文責 大石 泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲よし(共に学び、共に育つ)～



3年校舎(旧幼稚園)玄関前の梅の花が次々に開花しています。

立春を過ぎ、少しずつ春が近づいていることを肌で感じる毎日です。

さて、保護者の皆様には、1月下旬よりインフルエンザに係る学級閉鎖等で、多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。本校もようやく感染のピークを過ぎ、各学年の日常を取り戻しつつありますが、今後も「手洗い」「うがい」「換気の徹底」等の感染予防に努めていきたいと考えています。

給食の匂いがただよう4時間目 (5年 田添 詩織さんの標語作品)

全国学校給食週間(1/24～1/30)に合わせ、全校オンラインで「給食集会」を実施しました。子どもたちは、毎日あたりまえのように食べている給食が、給食室をはじめ多くの方々に支えられていることに気づき、感謝の気持ちを持つことができたようです。

期間中、校内に掲示してある「お礼のお手紙」が目にとまりました。

ある事情から、私が以前一緒に給食を食べ続けた子どもの手紙でした。それは、次のような内容でした。

「6年間給食を作ってくれてありがとうございます。僕は1年生のころ、きらいな食べ物が多く、よく残していました。だけど、がんばって食べ続けたら2年生のときにだいたいの給食を食べられるようになりました。

そして、4・5年生のころにきらいな食べ物でも食べられるようになり、おかわりをするようになりました。6年生になってからは残したことが1回もなく、毎日おいしい給食を食べています。僕はその給食の中でもめん類やカレーなどが好きです。大きなおかずは毎日おいしいし、野菜は食べやすいよう工夫されています。ごはんは必ずおかわりをするほどになりました。

6年間、給食を作り続けてくださり本当にありがとうございました。」

口数も少なく、自分の思いを表現することが苦手だと感じていただけに、その成長に驚くと同時にとても嬉しくなりました。

新1年生 入学説明会

4年ぶりに対面で開催し、「子育て講座」では、不安なことやご家庭で取り組めることについてグループで共有するワークショップを行いました。

参加された方からは「他のお母さん方と少しでも交流が出来て少しホッとしました。」「緊張がほぐれた。入学前に数人でも顔見知りが出来て良かった。」

「皆さん同じような不安を持っておられて安心しました。」「なかなか同じ年代の子を持つ保護者の方と接する機会がなかったので、こういう場を設けてもら

い良かったです。」といった感想をいただきました。最初は皆さん緊張した様子でしたが、しばらくすると笑い声も起こるなど和やかな雰囲気になっていき、つくづく対話の良さを実感しました。



来週は、本年度最後の「授業参観・懇談会」が実施されます。子どもたちは、1年間の学びの成果を発表しようと準備を進めているところです。ご家庭で子どもたちに励ましの言葉をかけていただけたらと思います。また、ご多用な折とは存じますが、多数ご参観いただきますようお願い申し上げます。